

第8回 土木学会コンサルタント委員会 地方創生シンポジウム

首長・リーダーが語る地方創生

70年以上人口が増え続ける開成町のブランディング戦略

-「瀬戸屋敷」と「瀬戸酒造店」がまちにもたらすもの-

2026年 12月 21日(月) 13:30~17:00

会　場:日本大学 CSTホール ／ オンライン(WEB配信)
定　員:会場 150名 ／ WEB 300名(申込先着順) ※当日、会場でお酒の販売あり
参加費:無料

参加無料



主催:(公社)土木学会 コンサルタント委員会 地方創生研究小委員会
後援:一般社団法人 建設コンサルタンツ協会

土木学会CPDプログラム認定
JSCE26-1474　3.2単位

首長・リーダーが語る地方創生　70年以上人口が増え続ける開成町のブランディング戦略

開成町は神奈川県西部に位置する人口約19,000人の町で、過去70年以上人口が増え続けている自治体として知られています。「田舎モダン」をキーワードに、自然豊かで住みやすい環境を活かしたまちづくりを進め、子育て世代の増加が続いています。

この地域では、建設コンサルタント会社が地元で150年以上の歴史を持つ酒蔵の再生に取り組み、酒造りにとどまらず新たな価値を創出することで、地域の魅力を発信する存在として期待されています。また、町の指定文化財である古民家を、地域住民の活動・交流拠点として運営（指定管理）し、海外からの体験ツアーを年間約3,000人受け入れるなど、交流と情報発信の核として定着しつつあります。

本シンポジウムでは、まちづくりにおけるこうした取組の価値や効果、将来に向けた展開の可能性を多面的な視点から議論し、インフラ技術者やまちづくりに携わる技術者に期待される役割について考えます。

プログラム

13:00～　開場・受付開始

13:15～　WEB参加者向けシステムの使用方法説明

13:30～13:40　（1）主催者代表挨拶・趣旨説明

熊谷 聡（地方創生研究小委員会 委員長）

13:40～15:10　（2）基調講演

基調講演①開成町のブランディングと“田舎モダン”のまちづくり

山神 裕氏（開成町長）

基調講演②酒蔵再生と古民家活用がひらく地域の未来

森 隆信氏（株式会社瀬戸酒造店 代表取締役）

15:10～15:20　～ 休 憩 ～

15:20～16:50　（3）パネルディスカッション

コーディネーター：

工藤　誠（地方創生研究小委員会 委員）

パネリスト：

山神 裕 氏（前出）／ 森 隆信 氏（前出）
岡田 智秀 氏（日本大学理工学部 教授）
玉岡　秀敏（地方創生研究小委員会 委員）

16:50～17:00　（4）閉会挨拶

後藤　健志（地方創生研究小委員会 副委員長）



山神 裕 氏
開成町長

略歴
昭和41年開成町生まれ
平成元年3月 慶應義塾大学商学部 卒業
平成30年9月 明治大学公共政策大学院 修了
大学卒業後、国内外の銀行勤務を経て、令和5年4月、第9代開成町長に就任



森 隆信 氏
株式会社瀬戸酒造店 代表取締役
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
地域経営推進事業部 副事業部長

略歴
昭和46年生まれ。九州工業大学卒業後、建設コンサルタント会社で橋梁設計に従事。官民連携・事業開発を経て、平成29年に瀬戸酒造店代表取締役、あしがり郷瀬戸屋敷館長に就任。地域振興に尽力



岡田 智秀氏
日本大学理工学部まちづくり工学科　教授

略歴
昭和42年東京都生まれ。日本大学大学院博士課程修了。日本大学理工学部助手、専任講師（途中、ハワイ大学客員研究員）、准教授を経て、平成26年よりまちづくり工学科教授。景観まちづくり、水辺まちづくり、地域活性化を専門とする。

■開催概要

開催日：2026年12月21日（月）13:30～17:00（13:00受付開始）
会　場：日本大学理工学部 駿河台キャンパス1号館6階　CSTホール
　　／オンライン
定　員：会場150名／WEB 300名（申込先着順）
参加費：無料　CPD単位数：3.2単位（JSCE26-1474）

■参加申込方法

土木学会HPからお申込みください
http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp
申込時にメールアドレスを必ずご記入ください。受付後、学会からの電子メールで参加番号をお知らせします。

■申込締切日：2026年12月14日（月）



【問い合わせ先】公益社団法人土木学会 コンサルタント委員会・地方創生研究小委員会（担当：杉野）
東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内　E-Mail：research@jsce.or.jp
https://committees.jsce.or.jp/kenc/